

春を待つ、
冬の庭。



WINTER
2023

NO. 03

春を待つ、 冬の庭。



オスモカラー

ひまわり油などの植物油が木に深く浸透するので、木目や木の表情を生かした仕上がりになる自然塗料です。



キシラデコール

日本国内で売上 No.1 と言われる高耐久木材保護塗料です。高い信頼性で、重要文化財にも使用されています。

待つという趣。

色とりどりの落ち葉を片付けたら、植物は休眠に入ります。だから、冬は庭のメンテナンスをするのに、最適な季節なのです。門扉や、木製フェンスなどの塗り替えは、空気が乾燥している冬の間が、最適です。天気予報をチェックして、晴れ間が続くような日を狙いましょう。塗料は、ホームセンターなどで入手できます。おすすめは「オスモカラー」と「キシラデコール」です。防腐・防カビ効果があり耐候性に優れています。家の壁やコンクリートにこぼれたら塗料はなかなか落ちないので、マスキングテープなどで必ず

養生をして始めてください。2年に1度の塗り替えが理想ですが、色褪せの状態によっては、5年に1度くらいでも大丈夫。お庭をリフレッシュして、暖かい季節がやってくるのを待ちますか？





おすすめ
植物



プロカンベンス ナナ
Juniperus procumbens 'Nana'

常緑樹。耐寒性に強く、分枝が旺盛なので緻密なグラウンドカバーを作ります。葉の色が、春～秋はライムグリーンで、冬になると紫みを帯びてきます。



フォサギラ・マヨール
Fothergilla major

2～3月ごろ植え付けると、春にブラシのような白い花を枝一面に咲かせます。自然に株立ちの樹形になるため、ナチュラルな雰囲気のおすすめです。

水と空気をふくんだ「ふかふかの土」で、根を優しく包み、たくましく育む。

簡単な「土づくり」教えます！

植木より 30 センチほど離れた地面にバールを差し込み、グリグリと穴を開けます。バールを地面に押し付けながら回転させると開けやすいです。石などに当たってバールを深く差せない場合は、場所を変えながらチャレンジしてみてください。

穴の深さは 30 センチ以上が好ましいです。穴の中に、燐炭（もみ殻くんたん）を詰め込みます。

これだけでも、土の環境を良くすることができますので、ぜひお試しください。

健全な土を育てることこそが、植物を美しく育てることに必要不可欠だと考えます。

健全な土にすることも「冬の庭のメンテナンス」のひとつ。春の新芽を楽しみに、土の状態を整えてみませんか。



「土」づくりの様子

緑をまもり、はぐくみ、いつくしむ。

— 創業昭和二五年 —



緑公園
RYOKUKOEN

株式会社 緑公園 柴田造園

〒489-0971

愛知県瀬戸市西本地町1-145-1

電話 0561-82-0310

◎ 造園業

剪定・伐採
植栽・樹勢回復
道路・河川・緑地帯の
管理業務



WEB

◎ 高木レスキュー隊

倒木の危険のある樹木
大きくなりすぎた樹木
山林管理業務



WEB

◎ 育てる庭

新築外構造園
リフォーム
植栽工事



Instagram



WEB

樹木のことならどんなことでも、お気軽にご相談ください。